

第4章

みどりあふれる持続可能なエコタウン

411 スマートハウス化推進補助事業										環境クリーン部マチごとエコタウン推進課			マチごとエコタウン推進課長 緑川 達也	
目的	所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、既存住宅の環境性能の向上、再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー化を一層推進することで、市域の温室効果ガス排出量の削減を目的とする。								開始	H31	R6	R7		
									予算現額		217,966千円		183,346千円	
内容	住宅の断熱性を高める工事や太陽光発電システム等の導入を行う市民、事業者、自治会・町内会及び管理組合に対して、その購入にかかる費用の一部を助成する補助金を交付する。								決算額(R7見込)	198,022千円		151,811千円		
									正規職員数		1.50人		2.32人	
指標	事務事業における温室効果ガス排出量の削減率市の事務及び事業における温室効果ガスの削減状況を測る指標。 数値は、平成25年度(2013年度)を基準年度とした、市の事務及び事業による温室効果ガス排出量の削減率。令和10年度までに76.5%以上をめざすもの。							R4現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	12,243千円	19,597千円	
								70.7%	未確定	76.5%	その他職員割合	0.25人	0.25人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	210,265千円	171,408千円	
411 所沢市からはじめるマチごとゼロカーボン運動事業										環境クリーン部マチごとエコタウン推進課			マチごとエコタウン推進課長 緑川 達也	
目的	「所沢市脱炭素社会を実現するための条例」の趣旨を踏まえ、2050年ゼロカーボンシティ実現には、市・事業者・市民が地球温暖化を自分事として捉え、迅速に取組を進める必要がある。こうした状況を踏まえ、事業者や市民を巻きこんだ取組により脱炭素の機運を高め、市域へ波及させることを目的に実施する。								開始	R5	R6	R7		
									予算現額		4,312千円		780千円	
内容	事業者ネットワーク交流会の開催、学生との連携による普及啓発イベント、職員による出前講座等の市民啓発を継続的に実施し、多様な主体と協働して脱炭素に向けた理解促進と行動喚起を図る取組を、市域全体へ着実に展開していく取組である。								決算額(R7見込)	1,827千円		208千円		
									正規職員数		2.87人		1.95人	
指標	脱炭素に資する会議、イベント、出前講座の開催数 各主体を巻き込みながら脱炭素の推進を図るため、協働でのイベント実施や啓発活動を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	23,425千円	16,472千円	
								19回	18回	19回	その他職員割合	0.00人	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	25,252千円	16,680千円	
412 まちづくりセンター施設整備事業(山口公民館太陽光発電設備設置工事)										市民部山口まちづくりセンター			山口まちづくりセンター長 小林 宏行	
目的	本事業は、再生エネルギーの普及促進として、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて、屋上防水シート改修に合わせ、太陽光発電設備や蓄電池等の設備導入を行ったものである。								開始	R5	R6	R7		
									予算現額		－		106,898千円	
内容	太陽光発電設備約38kw及び蓄電池221kwhを導入し、平時における自家消費電力使用量の削減に伴う二酸化炭素排出量の削減に加え、災害停電時における特定負荷電力の確保による現地災害対策支部としての機能整備及び避難施設の機能維持のための整備を図るものである。								決算額(R7見込)	－		76,780千円		
									正規職員数		－		0.29人	
指標	令和7年度に山口公民館太陽光発電設備設置工事を完成させる。							R5現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	－	2,450千円	
								－	完成	完成	その他職員割合	－	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費	－	79,230千円	
412 公共施設太陽光発電設備設置事業										環境クリーン部マチごとエコタウン推進課			マチごとエコタウン推進課長 緑川 達也	
目的	再生可能エネルギーの創出、電力使用におけるCO2排出量削減及び災害時のエネルギー供給の機能を発揮させることを目的に実施する。								開始	R5	R6	R7		
									予算現額		0千円		9,785千円	
内容	環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)」を活用し、6つの公共施設(松井まちづくりセンター、保健センター、収集管理事務所、中富南コミュニティセンター、リサイクルふれあい館、生涯学習推進センター)に太陽光発電設備と蓄電池を、維持管理業務を含めた包括リース方式で導入する。								決算額(R7見込)	0千円		8,323千円		
									正規職員数		1.55人		1.95人	
指標	再生可能エネルギーの導入量 市内に設置されている再生可能エネルギー設備の総出力を示す指標。数値は、所沢市内の再生可能エネルギー設備の導入容量。(国が公表する市町村別の再生可能エネルギー設備の導入容量を用いて算出。)							R4現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	12,651千円	16,472千円	
								43.1MW	未確定	65.3MW	その他職員割合	0.00人	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	12,651千円	24,795千円	
412 公共施設LED一括導入事業										環境クリーン部マチごとエコタウン推進課			マチごとエコタウン推進課長 緑川 達也	
目的	本事業は、水銀に関する水俣条約により2027年末までに全ての蛍光ランプの製造及び輸出入の廃止が決定したことや、ゼロカーボンシティの実現に向けた温室効果ガス排出量の削減を促進するため、公共施設へのLED一括導入を行うものである。								開始	R7	R6	R7		
									予算現額		-		5,500千円	
内容	LED化未完了の公共施設のうち、188か所(建物169施設及び道路照明19か所)の照明を、照明交換、維持管理及び省エネルギー効果検証を一体として行うESCO事業により一括LED化する。								決算額(R7見込)	-		4,741千円		
									正規職員数		-		1.45人	
指標	本事業によりLED化を完了した公共施設数							R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	12,248千円	
								0か所	0か所	188か所	その他職員割合	-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	-	16,989千円	

412 再生可能エネルギー普及推進事業										環境クリーン部マチごとエコタウン推進課				マチごとエコタウン推進課長 緑川 達也			
目的	「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に基づき、脱炭素社会の構築に向け、市域の再生可能エネルギーの利用を推進するものである。									開始	H30	R6	R7				
										予算現額		19,875千円		16,331千円			
内容	・メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢の運営 ・小中学校屋根貸し太陽光発電事業 ・公共施設における環境にやさしい電力の利用推進 ・再生可能エネルギーの普及推進									決算額(R7見込)		18,529千円		16,158千円			
										正規職員数		1.73人		1.30人			
指標	再生可能エネルギーの導入量 市内に設置されている再生可能エネルギー設備の総出力を示す指標。数値は、所沢市内の再生可能エネルギー設備の導入容量。(国が公表する市町村別の再生可能エネルギー設備の導入容量を用いて算出。)								R4現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		14,120千円		10,981千円	
									43.1MW		未確定		65.3MW		その他職員割合		0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		32,649千円		27,139千円		
413 所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)										建設部道路建設課				道路建設課長 岩崎 幸司			
目的	柳瀬川と東川合流地点前後区間にある清柳橋が河川整備の妨げとなっていることから、柳瀬川にかかる清柳橋の改築により、河川整備の効果を高め、今後の浸水被害の軽減を図るものである。									開始	H30	R6	R7				
										予算現額		155,000千円		38,350千円			
内容	道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに新清流橋の改築及び旧清流橋の撤去を進めるとともに、接続する市道1-900号線の道路整備工事に取り組む。									決算額(R7見込)		148,137千円		30,983千円			
										正規職員数		0.67人		0.16人			
指標	埼玉県、清瀬市と共同で行う橋りょう改築と合わせて接続する周辺道路整備に係る工事計画に対する進捗率 橋りょうの改築にあたり、各年度で計画した業務がどれくらい進捗できたかで評価する。								R5現状	R7実績	R9目標	正規職員数(費)		5,469千円		1,352千円	
									100.0%		100.0%		100.0%		その他職員割合		0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅳ:事業規模縮小		決算額+人件費		153,606千円		32,335千円		
413 雨水流出抑制指導事業										建設部河川課				河川課長 遠山 秀仁			
目的	河川・水路の氾濫防止、流域の浸水被害の防止及び地下水のかん養を図るため、開発時に事業者に対して、雨水流出抑制施設を設置するよう指導を行う。									開始	S58	R6	R7				
										予算現額		0千円		0千円			
内容	開発事業の計画図書をもとに、雨水流出抑制施設の整備に関する基準を満たすよう協議・指導する。その後、事業の工事完了時の検査において、当該施設が適切に設置されていることを確認する。									決算額(R7見込)		0千円		0千円			
										正規職員数		0.80人		0.90人			
指標	雨水流出抑制指導による施設の設置割合 河川・水路の氾濫防止や地下水のかん養に関する取組状況を示す指標。数値は、開発時における雨水流出抑制指導により、当該年度に完了検査を実施したもののうち施設を設置した事業の割合。毎年度、100%をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,530千円		7,602千円	
									100%		100%		100%		その他職員割合		0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		6,530千円		7,602千円		
421 生きもののみどり啓発事業										環境クリーン部みどり自然課				みどり自然課長 金子 敦			
目的	本市のブランドである豊かなみどりの保全のため、「みどりのふれあいウォーク」や環境展示会等を開催し市民の理解と意識の向上を図るほか、イベントの際に緑の募金運動を実施し、参加者から寄附金を募る。また、自然や生きものへの親しみや関心を高めるため、カブトムシ等の昆虫類が繁殖するための落ち葉プール等を設置し、虫取りや観察などの場を提供する。									開始	H18	R6	R7				
										予算現額		6,795千円		32,236千円			
内容	狭小丘陵の樹林地内を巡る「みどりのふれあいウォーク」、市役所1階ロビーでの環境展示会(トコロの森ミュージアム)、みどりの保全や生物多様性に係る出前講座や小学校高学年向けに地元高校の生物部と連携した特定外来生物の生態等を学ぶ講座等を実施し、市民へのみどりに対する啓発を行う。市内公共施設等に「緑の募金箱」を設置するとともに、イベントの際にも緑の募金運動を実施し、参加者から寄附金を募る。カブトムシ等の昆虫類の幼虫を繁殖させるため市内樹林地に落ち葉プール等を設置し、虫取りや観察などの場を提供することで、市民の生きものへの関心を高める。									決算額(R7見込)		6,299千円		32,079千円			
										正規職員数		1.53人		1.60人			
指標	生物多様性やみどりへの理解促進に関する取組状況を示す指標。 数値は、生物多様性やみどりへの理解を高めることを目的としたイベントや講座等の参加者数。毎年度、6,900人以上をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		12,488千円		13,515千円	
									6,781人		6,432人		6,900人		その他職員割合		0.17人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		18,787千円		45,594千円		
422 みどりのパートナー活動推進事業										環境クリーン部みどり自然課				みどり自然課長 金子 敦			
目的	本市のみどりをより豊かにする市民活動を推進するため、みどりの保全及び緑化の推進に関して自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体を「みどりのパートナー」として登録し、必要な育成・支援等を行う。									開始	H24	R6	R7				
										予算現額		7,439千円		7,624千円			
内容	みどりの保全活動及び緑化の推進活動を行うみどりのパートナーに対して、補助金の交付、情報の提供、講座の開催等により活動の支援を行う。									決算額(R7見込)		6,361千円		7,066千円			
										正規職員数		1.56人		1.45人			
指標	エコロジカルネットワークの形成に関する取組状況を示す指標。 数値は、みどりの保全・創出を目的とした「みどりのパートナー制度」の登録者数。令和10年度までに1,685人以上をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		12,733千円		12,248千円	
									1,659人		1,565人		1,685人		その他職員割合		0.05人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		19,094千円		19,314千円		

423 みどりの基本計画推進事業										環境クリーン部みどり自然課		みどり自然課長 金子 敦	
目的	「所沢市みどりの審議会」において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進行管理を行うことにより、みどりの保全や創出、生物多様性の保全、水とみどりがつくるネットワークの構築に係る事業の推進を図る。									開始	H21	R6	R7
										予算現額		284千円	284千円
内容	年に2～3回みどりの審議会を開催し、みどりの基本計画及び生物多様性ところざわ戦略に基づく施策や事業の進行管理を行う。									決算額(R7見込)		181千円	223千円
										正規職員数		0.74人	0.85人
指標	みどりの保全や街中のみどりの創出に関する取組状況を示す指標。 数値は、都市公園の面積。令和10年度までに6.07haの増加をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,040千円	7,180千円
							146.18ha	147.02ha	152.25ha	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		6,221千円	7,403千円
423 緑地管理整備推進事業										環境クリーン部みどり自然課		みどり自然課長 金子 敦	
目的	市民の森など地域制緑地の指定をした緑地や、市が購入又は寄附によって取得した緑地の維持管理を行うことで、自然環境や植生、景観を将来に引き継ぐとともに、市民が安全にみどりと触れ合う場を提供する。									開始	H6	R6	R7
										予算現額		208,048千円	119,965千円
内容	越境木や高木の剪定、除草等のほか、市民が安全にみどりに触れ合う場を提供するため、ナラ枯れ被害木をはじめとする危険木の伐採等を行う。また、施設整備として、市民に公開している緑地の園内柵や外周柵の設置や修繕等を行う。									決算額(R7見込)		203,822千円	118,983千円
										正規職員数		2.52人	2.87人
指標	管理作業実施面積。 業者委託等による剪定・伐採等の管理面積+みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積+市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		20,568千円	24,243千円
							53.17ha	43.02ha	43.00ha	その他職員割合		0.30人	0.55人
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		224,390千円	143,226千円
423 里山保全地域等指定整備事業										環境クリーン部みどり自然課		みどり自然課長 金子 敦	
目的	各種法令等に基づき緑地保全制度の指定を行うとともに、指定地において相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得(寄附受入を含む)により公有地化を行うことで、市内に残された貴重な緑地を保全し未来のこどもたちにふるさと所沢のみどりを継承する。									開始	H24	R6	R7
										予算現額		71,340千円	222千円
内容	未来のこどもたちに所沢のみどりを継承するため、各種法令等に基づき、地域性緑地の指定及び拡大を行う。また、特別緑地保全地区においては、国の補助金である社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に公有地化を進める。									決算額(R7見込)		71,089千円	125千円
										正規職員数		0.92人	0.95人
指標	市全域の保全配慮地区における地域制緑地の指定面積。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,509千円	8,025千円
							103.9ha	106.3ha	110ha	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		78,598千円	8,150千円
423 保存樹木等指定促進事業										環境クリーン部みどり自然課		みどり自然課長 金子 敦	
目的	市街化区域及びその周辺地域において、良好な都市環境を維持するため保存樹木等の指定を行うほか、所有者に対して剪定等の保全管理に要する経費の一部を補助金として交付することで、適正な管理を促し永続的な保全を図る。									開始	H27	R6	R7
										予算現額		3,305千円	3,241千円
内容	条例等に基づき、市街化区域及びその周辺地域を中心とした保存樹木等の新たな指定を図る。また、保存樹木等の所有者に対し、剪定等の保全管理に要する経費の一部を補助金として交付するほか、保存樹木等の幹や枝の落下によって、所有者以外の第三者の車などの所有物や身体に危害を与えた際の損害賠償保険に市が一括して加入し所有者の支援を行う。									決算額(R7見込)		2,168千円	3,024千円
										正規職員数		0.35人	0.35人
指標	保存樹林の指定面積。 生きものの移動経路となるエコロジカルネットワークの形成において重要なまとまりのあるみどりの面積として保存樹林の指定面積を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,857千円	2,956千円
							10.6ha	10.5ha	10.5ha	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		5,025千円	5,980千円
423 みどりの創出事業										環境クリーン部みどり自然課		みどり自然課長 金子 敦	
目的	街中に生物生息空間を適切に配置し、生態的なつながりを持たせ、その間を生きものが移動できるようになるエコロジカルネットワークの形成を図る。									開始	H11	R6	R7
										予算現額		1,007千円	1,206千円
内容	公共施設の新規整備や改修等にあたり、公共施設ガイドラインに基づく緑化推進を行う。また、市民に花苗や苗木を配布し、エコロジカルネットワークの形成やみどりへの意識向上を図る。									決算額(R7見込)		988千円	1,175千円
										正規職員数		0.70人	0.77人
指標	街や住宅におけるみどりの創出と、市民の意識の高揚を図るため、イベントにおける苗木の配布数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,713千円	6,504千円
							100本	100本	100本	その他職員割合		0.05人	0.05人
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		6,701千円	7,679千円

423 水田景観保全事業										環境クリーン部みどり自然課				みどり自然課長 金子 敦	
目的	上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田を保全することで、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに豊かな里山の景観を引き継いでいく。									開始	R3	R6	R7		
										予算現額		1,970千円	2,179千円		
内容	上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内の水田を地権者より借り受け、田植え、稲刈り及びびざ掛けを実施可能な耕作範囲で事業協力団体とともにを行っている。									決算額(R7見込)	1,850千円	2,021千円			
										正規職員数	2.32人	2.20人			
指標	土地使用賃借契約、公有地化により水田を保全・担保した面積。 地元・関係団体との協働により実施可能な耕作範囲について、市で地権者より土地を借り受け、または公有地化により保全・担保した面積を目標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	18,936千円	18,583千円				
						0.44ha	0.44ha	0.44ha	その他職員割合	0.10人	0.35人				
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	20,786千円	20,604千円			
423 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業										建設部公園課		公園担当参事 会沢 一信			
目的	本事業は、所沢市みどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられているまとまりのある貴重なみどりを保全するため、用地の取得及び保全管理を行うものである。									開始	R3	R6	R7		
										予算現額		222,962千円	335,760千円		
内容	貴重なみどりを保全するため、用地の取得及び除草等の保全管理を行う。									決算額(R7見込)	222,677千円	335,313千円			
										正規職員数	0.90人	0.92人			
指標	用地取得面積 事業の進捗を図るためには、用地確保が最重要となることから用地取得面積を目標値としている。					R5現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)	7,346千円	7,771千円				
						2856.84㎡	2285.27㎡	996.26㎡	その他職員割合	0.00人	0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	230,023千円	343,084千円			
423 ふるさとの川再生事業										建設部河川課		河川課長 遠山 秀仁			
目的	市が管理する河川及び水路において、実施区域を指定し、市と市民団体が協働して多様な生物が生息する自然が豊かな川の実現を目指す。									開始	H22	R6	R7		
										予算現額		300千円	300千円		
内容	指定した区間について、市が河川及び水路の整備を実施し、市民団体は自然再生に関することや清掃及び除草などの環境保全活動を行う。									決算額(R7見込)	300千円	300千円			
										正規職員数	0.48人	0.53人			
指標	活動団体数 地域に根付いた親しみのある多自然川づくりへの要望があることから、市との協働による多自然の川づくりを行う活動団体数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,918千円	4,477千円				
						3団体	3団体	3団体	その他職員割合	0.00人	0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	4,218千円	4,777千円			
423 東川桜舞う遊歩道事業(COOLJAPANFOREST構想事業)										建設部河川課		河川課長 遠山 秀仁			
目的	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、本市にとって重要な観光資源である東川沿いの桜並木及び遊歩道について、継続的に維持管理を行う。									開始	H30	R6	R7		
										予算現額		6,713千円	5,977千円		
内容	旭橋から柳瀬川合流点までの東川沿いの桜並木について剪定等の維持管理を行うとともに、東川沿い遊歩道についても維持管理を継続的に行う。									決算額(R7見込)	6,672千円	5,963千円			
										正規職員数	0.45人	0.56人			
指標	東川桜枝剪定延長 R2年度までは、東川遊歩道整備延長を指標としていたが、R2年度で遊歩道整備が完了したため、R3年度からは、東川桜枝剪定延長を指標としている。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,673千円	4,730千円				
						965m	954m	1,120m	その他職員割合	0.00人	0.02人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	10,262千円	10,693千円			
423 砂川堀水辺保全・散策路整備事業										建設部河川課		河川課長 遠山 秀仁			
目的	「水とみどりがつくるネットワーク」を構成する河川の一つである砂川堀の貴重な水とみどりを保全し、その自然を知り親しめる散策路を整備する。									開始	R元	R6	R7		
										予算現額		16,754千円	5,000千円		
内容	三ヶ島橋から誓詞橋までの区間において砂川堀散策路の整備を進めるとともに、整備済みの区間においては、継続的に維持管理を行う。また、砂川堀の立ち枯れや倒木の危険等がある樹木について、剪定・伐採及び水路敷内の除草を行う。									決算額(R7見込)	16,718千円	5,000千円			
										正規職員数	0.75人	0.69人			
指標	砂川堀散策路整備延長					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,122千円	5,828千円				
						0m	0m	93m	その他職員割合	0.00人	0.03人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	13,368千円	10,828千円			

431 プラスチックごみ削減推進事業							環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀	
目的	本市におけるプラスチックごみの削減のため、市民や市内事業者にプラスチックと賢く付き合う意識を醸成し、使い捨てプラスチック等の使用抑制(排出抑制)を図る。								開始	R2	R6	R7
									予算現額		1,764千円	1,711千円
内容	市内公共施設へのマイボトル専用給水スポットを設置しペットボトルからマイボトル利用を促進する。また、給水スポット設置を周知しマイボトル持ち歩きの定着を図る。								決算額(R7見込)		1,028千円	1,112千円
									正規職員数			0.71人
指標	市内公共施設に設置したマイボトル専用給水スポット(ウォーターサーバー)の利用流量に相当するペットボトル容器の重量。 流量(利用水量)が増えるほど、ペットボトルからマイボトルへ転換され、プラスチックの削減につなげる。 令和5年度の実績から年5%増加を目指す。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,795千円	4,139千円		
					3,656kg	4635kg	4900kg	その他職員割合	0.71人	0.49人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,823千円	5,251千円
431 集団資源回収報償金交付事業							環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀	
目的	ごみの減量と資源化の推進を図る。								開始	H3	R6	R7
									予算現額		70,000千円	67,103千円
内容	集団資源回収事業実施団体(自治会・町内会、子ども会等)が資源物(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、古布、アルミ缶・スチール缶、紙パック、生きびん)を集団資源回収事業取扱業者に引き渡す活動に対し、市は資源物1kgあたり7円(生きびんは1本当たり7円)の報償金を交付する。								決算額(R7見込)		54,914千円	52,283千円
									正規職員数			0.71人
指標	総ごみ量に対するリサイクル率ごみの資源化に対する取組状況を示す指標。 数値は、市民・事業者から排出される全ごみ量のうち、紙類、古布類、鉄・アルミなどを資源化させることができた割合。 *焼却等の過程において中間生成される焼却灰等の資源化量は除く。令和10年度までに0.4ポイントの増加をめざすもの。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,795千円	4,984千円		
					24.4%	23.1%	24.8%	その他職員割合	0.00人	0.10人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画通りでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	60,709千円	57,267千円
431 粗大ごみリユース推進事業							環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀	
目的	市民サービスの向上とリユースの推進を図る。								開始	H29	R6	R7
									予算現額		23,047千円	24,462千円
内容	東西グリーンセンターにおいて実施していた粗大ごみ収集事業をリサイクルふれあい館において一元化し、「もったいないの心」推進事業の一環として実施していた「再生可能な家具の回収業務」も付加することにより、粗大ごみの収集から再生・頒布、廃棄までを一体的に行う。								決算額(R7見込)		20,970千円	22,141千円
									正規職員数			6.22人
指標	再生家具の展示点数 再生可能な家具を資源物として活用した点数で示すことにより、ごみの減量成果がわかりやすくなるため、数値は前年度の実績を基にしている。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	50,768千円	49,753千円		
					1,798点	1,664点	1,798点	その他職員割合	6人	6人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	71,738千円	71,894千円
431 もったいないの心推進事業							環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀	
目的	「もったいないの心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組むとともに、循環型社会の形成のための3Rのひとつであるリユース及びリサイクルを暮らしに定着させる。								開始	H15	R6	R7
									予算現額		15,405千円	15,798千円
内容	①再生家具:粗大ごみとして排出された木製家具を手直した後、館内で展示のうえ抽選で月2回頒布。②東所沢エコステーションにて市民から持ち込まれる資源物を受け付けている。								決算額(R7見込)		14,864千円	15,928千円
									正規職員数			1.25人
指標	再生家具頒布申込者数 東所沢エコステーション来館者数 不用品登録者数 再生可能な家具などを資源物として活用した人数で示すことにより、ごみの減量成果がわかりやすくなるため、数値は前年度の実績を基にしている。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	10,203千円	11,826千円		
					21,868人	20,056人	21,868人	その他職員割合	5.35人	5.35人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	25,067千円	27,754千円
431 もったいないの心啓発事業							環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀	
目的	ごみ減量及び循環型社会形成に向け、3R(Reduce リデュース・発生抑制/Reuse リユース・再利用/Recycle リサイクル・再生利用)啓発をおこなう。								開始	H15	R6	R7
									予算現額		7,153千円	7,121千円
内容	学4年生社会科見学等見学者のための展示及び解説で②催事の企画開催(リユースきもの市、冬物コート市)等による市民へのPR事業。③館内展示のほか、ホームページや情報誌発行による情報提供の研究。④暮らしの中で3R(Reduceリデュース=発生抑制、Reuseリユース=再使用、Recycleリサイクル=再生利用)を実践するための場として、おもちゃの病院や傘修理、各種講座等の開催。								決算額(R7見込)		6,388千円	6,383千円
									正規職員数			1.00人
指標	リサイクルふれあい館及び東所沢エコステーションの来館者数(正面玄関の自動ドアカウンター)・講習会参加者数(3R講座、包丁研ぎ講習会) 啓発施設であるリサイクルふれあい館及びリユース、リサイクル品の引き取り場所である東所沢エコステーションについて、一人でも多くの市民に施設 の存在を知ってもらい、利活用していただくことが目的であることから実績を基にしている。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	8,162千円	9,714千円		
					64,984人	62,250人	64,984人	その他職員割合	1.05人	1.25人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費	14,550千円	16,097千円

432 チャレンジ生ごみ減量推進事業								環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀		
目的	家庭から出る燃やせるごみの約4割といわれる生ごみを減量するため、家庭で簡単にできる生ごみ処理の方法について普及啓発を図り、生ごみ処理機等を購入した市民に奨励金を交付する。								開始	R4	R6	R7		
									予算現額		5,999千円	5,979千円		
内容	生ごみ処理機を購入した市民に対し、限度額を40,000円とし、購入金額に3分の2を乗じて得た額の奨励金を交付する。(100円未満切捨て)								決算額(R7見込)		5,504千円	5,754千円		
									正規職員数		0.72人	1.27人		
指標	ごみ焼却発電による場内電気使用量焼却発電によるエネルギーの活用状況を示す指標。 数値は、東部クリーンセンターにおける、ごみ焼却で得られた電気の場内電気使用量に対する割合。毎年度、100%をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,877千円	10,728千円
									100%	100%	100%	その他職員割合	0.10人	0.05人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	11,381千円	16,482千円	
433 一般廃棄物減量化方策推進事業								環境クリーン部資源循環推進課				資源循環推進課長 東 和秀		
目的	本市の廃棄物行政を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、令和6年7月に一般廃棄物処理基本計画を改定した。 今後は当該計画に基づき、ごみの減量や効果的な資源化を推進するための必要な施策について検討を行う。								開始	R3	R6	R7		
									予算現額		13,647千円	70千円		
内容	一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量や効果的な資源化を推進するための必要な施策について検討を行う。								決算額(R7見込)		13,183千円	0千円		
									正規職員数		0.76人	0.55人		
指標	1人1日当たり家庭系ごみ排出量(資源物を除く) 減量化方策の推進による効果を判定するため、計画上の目標の一つである本指標を用いる。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,203千円	4,646千円
									433g	411g	404g	その他職員割合	0.00人	0.05人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	19,386千円	4,646千円	
433 第2一般廃棄物最終処分場整備事業								環境クリーン部東部クリーンセンター				東部クリーンセンター所長 大館 正		
目的	市内で発生する一般廃棄物の最終処分については、市外の最終処分場と市内の北野一般廃棄物最終処分場で行ってきたが、北野一般廃棄物最終処分場は平成17年3月末日をもって埋立が終了した。 このため全量を県営の処分場や県外の民間処分場へ搬出していることから、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備するものである。								開始	H11	R6	R7		
									予算現額		4,130,113千円	2,041,077千円		
内容	北野一般廃棄物最終処分場の埋立が終了したことから、自区内処理の原則に基づき、新たに柳瀬地区に被覆型の一般廃棄物最終処分場を整備する事業である。								決算額		4,049,867千円	1,537,341千円		
									正規職員数		5.46人	2.89人		
指標	最終処分場建設工事の進捗率 事業の進捗に伴い、令和5年度に最終処分場建設工事を開始したことから、工事の進捗率を成果指標とした。								R5現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	44,565千円	24,412千円
									13.0%	100%	100%	その他職員割合	0.3人	0.25人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費	4,094,432千円	1,561,753千円	
433 第2一般廃棄物最終処分場整備に伴う周辺整備事業								環境クリーン部東部クリーンセンター				東部クリーンセンター所長 大館 正		
目的	令和7年10月に供用を開始した第2一般廃棄物最終処分場の周辺地域(大字坂之下地区、大字南永井地区)について、生活環境の向上を図る観点から、都市基盤の整備等を図るものである。								開始	R5	R6	R7		
									予算現額		151,950千円	201,262千円		
内容	第2一般廃棄物最終処分場の周辺地域について、地元自治会から提出された要望事項にかかる整備を行うものである。								決算額		141,297千円	149,734千円		
									正規職員数		3.34人	3.50人		
指標	周辺整備7項目の20段階の進捗状況 平成31年に2自治会から周辺整備として提出された要望事項のうち、7項目20段階の整備完了を、成果指標とした。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	27,261千円	29,565千円
									10.0%	75.0%	95.0%	その他職員割合	0.3人	0.25人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	168,558千円	179,299千円	
433 第2一般廃棄物最終処分場運営維持管理事業								環境クリーン部東部クリーンセンター				東部クリーンセンター所長 大館 正		
目的	令和7年10月に供用を開始した第2一般廃棄物最終処分場において、施設の運営及び維持管理に関する業務の最適化及び効率化と、処分場の安心かつ安定した運営が目的である。								開始	R6	R6	R7		
									予算現額		0千円	81,066千円		
内容	第2一般廃棄物最終処分場の運転や維持管理といった施設運営業務を5年半にわたり包括的に委託すると共に、その運営状況が適正に行われているか監視、確認するものである。								決算額		0千円	69,248千円		
									正規職員数		0.05人	2.38人		
指標	包括運営事業における適正かつ安定した施設運営を目標として、施設運営に起因する計画外の埋立物搬入停止回数を指標とする。								R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	408千円	20,104千円
									-	0回	0回	その他職員割合	0.00人	0.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	408千円	89,352千円	

433 剪定枝資源化推進事業										環境クリーン部資源循環推進課			資源循環推進課長 東 和秀	
目的	公共施設等において剪定された枝木がクリーンセンターでの焼却処理後、埋立処分されている現状を踏まえ、市の事業から排出される剪定枝の堆肥化等の資源化により、焼却処理量の減量を推進する。								開始	R7	R6	R7		
									予算現額			4,345千円		
内容	環境クリーン部内の業務委託から排出される剪定枝を対象として、資源化処理を実施する。								決算額(R7見込)			1,221千円		
									正規職員数			0.32人		
指標	剪定枝資源化量 焼却処理量の減量を推進するものであり、焼却処理量の減量分＝資源化量であるため。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,703千円		
							66t	66t	500t	その他職員割合		0.05人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費		3,924千円		
433 不法投棄防止パトロール及び撤去事業										環境クリーン部資源循環推進課			資源循環推進課長 東 和秀	
目的	不法投棄多発地域をパトロールし、不法投棄物を撤去することで、地域の環境保全を維持し、新たな不法投棄を未然に防ぐことを目的とする。								開始	H13	R6	R7		
									予算現額		6,487千円	7,363千円		
内容	市内の不法投棄多発区域をパトロールし、不法投棄物を撤去する。 パトロールは、原則として月、火、木、金(祝祭日を除く)とし、不法投棄物の発見、撤去、クリーンセンターへの搬入を行う。								決算額(R7見込)		6,468千円	6,765千円		
									正規職員数		0.85人	0.85人		
指標	不法投棄物量不法投棄防止対策に関する取組の成果を測る指標。 数値は、市で撤去した不法投棄物量。令和10年度までに現状の1割以上の削減をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,938千円	7,180千円		
							7.8t	5.2t	7.0t	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	13,406千円	13,945千円		
433 東部クリーンセンター長期包括運営事業										環境クリーン部東部クリーンセンター			東部クリーンセンター所長 大館 正	
目的	東部クリーンセンターにおいて、民間事業者の専門的ノウハウを活用してごみ焼却施設等の安定的かつ効率的な施設運営を継続的に行之い、用役等調達コストの削減を図るものである。								開始	H26	R6	R7		
									予算現額		1,879,282千円	1,858,158千円		
内容	東部クリーンセンター焼却施設とリサイクルプラザの運転や維持管理及び用役調達や薬剤調達といった施設運営業務を18年間にわたり包括的に委託すると共に、その運営状況が適正に行われているか監視、確認するものである。また、令和5年度からは家庭ごみ等の受入業務においても委託を追加した。								決算額(R7見込)		1,863,126千円	1,823,807千円		
									正規職員数		2.00人	2.00人		
指標	長期包括運営事業における適正かつ安定した施設運営を目標として、施設運営に起因する計画外のごみ受入れ停止回数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	16,324千円	16,894千円		
							0回	0回	0回	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,879,450千円	1,840,701千円		
433 西部クリーンセンター長期包括運営事業										環境クリーン部西部クリーンセンター			西部クリーンセンター所長 加藤 満	
目的	西部クリーンセンターにおいて、民間事業者の専門的ノウハウを活用してごみ焼却施設等の安定的かつ効率的な施設運営を継続的に行之い、用役等調達コストの削減を図るものである。								開始	H28	R6	R7		
									予算現額		1,109,413千円	1,115,672千円		
内容	西部クリーンセンター焼却施設とプラスチック処理施設の運転や維持管理及び用役調達や薬剤調達といった施設運営業務を14年間にわたり包括的に委託すると共に、その運営状況が適正に行われているか監視、確認するものである。また、令和6年度からは家庭ごみ等の受入業務においても委託を追加した。								決算額(R7見込)		1,081,839千円	1,096,566千円		
									正規職員数		1.05人	1.15人		
指標	長期包括運営事業における適正かつ安定した施設運営を目標として、施設運営に起因する計画外のごみ受入れ停止回数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	8,570千円	9,714千円		
							0回	0回	0回	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,090,409千円	1,106,280千円		
433 ごみ収集事業										環境クリーン部収集管理事務所			収集管理事務所長 古瀬 力	
目的	市民の生活ごみとして、ごみ集積所に排出された廃棄物の適正処理及び再資源化により、公衆衛生環境の向上及び循環型社会の確立を実現する。								開始	S26	R6	R7		
									予算現額		80,759千円	89,637千円		
内容	ごみの分別を徹底し、効率的に収集を行う。また、これに伴うごみ集積所の設置・維持管理についての指導及び清掃車両の整備並びにごみ集積所情報管理システムの運用管理を行う。								決算額(R7見込)		76,639千円	83,532千円		
									正規職員数		49.42人	47.97人		
指標	1トンあたりの収集経費(年間経費÷年間ごみ収集量) 生活ごみの効果的な収集を目的としているので、1トンあたりの収集に係る経費を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	403,366千円	405,203千円		
							26,833/t	28,591/t	28,591/t	その他職員割合	5人	5.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	480,005千円	488,735千円		

433 ふれあい収集事業										環境クリーン部収集管理事務所		収集管理事務所長 古瀬 力	
目的	高齢又は障害等により、家庭から排出するごみを自らごみ集積所に出すことが困難な市民の生活環境の向上及び安全確保を図る。									開始	H17	R6	R7
										予算現額		1,586千円	1,161千円
内容	当該事業利用者宅の戸口において直接ごみの収集を行う。さらに、希望者には、声かけを行い安否確認を行う。									決算額(R7見込)		1,393千円	1,392千円
										正規職員数		6.40人	6.50人
指標	当制度について周知・啓発し、利用拡大を図るため、指標を年間利用世帯数とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		52,237千円	54,906千円
							736世帯	767世帯	767世帯	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		53,630千円	56,298千円
433 一般廃棄物収集運搬業務委託事業										環境クリーン部収集管理事務所		収集管理事務所長 古瀬 力	
目的	将来にわたり安定した収集体制を維持するため民間委託し、市民生活の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。									開始	H17	R6	R7
										予算現額		885,170千円	890,890千円
内容	市民が年間ごみ日程表に基づき委託地区内のごみ集積所に出したごみを委託業者が収集し、東部・西部クリーンセンター等に運搬する。									決算額(R7見込)		885,170千円	890,890千円
										正規職員数		2.65人	2.35人
指標	民間事業者への委託割合（委託地区の世帯数/市内の全世帯数） 市民生活の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、安定的な収集運搬体制を確保する必要がある。また、現業職員不補充であり、計画的に委託拡大を図ることが重要であることから、委託割合を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		21,629千円	19,850千円
							70%	70%	85%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅰ:事業規模拡大	決算額+人件費		906,799千円	910,740千円
441 大気規制対象事業所検査事業										環境クリーン部環境対策課		環境対策課長 三浦 直子	
目的	大気規制対象事業所から大気環境へ排出される大気汚染物質を、立入検査等を通して削減し、大気環境の保全を目的とする。									開始	S59	R6	R7
										予算現額		2,126千円	2,134千円
内容	ばい煙の排出状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。(ばい煙排出状況の行政検査や報告の徴収を含む。) ①検査計画の作成②対象事業所への報告徴収の実施(規制基準への適合状況)③排出ガス量が多い又は規制基準の適合状況が思わしくない事業所を優先しながら立入検査を実施④規制基準に適合しない事業所への改善指導等により、各施設から排出される汚染物質を削減し、大気汚染を防止する。									決算額(R7見込)		1,803千円	1,962千円
										正規職員数		0.78人	0.75人
指標	大気規制対象事業所のばい煙にかかる排出基準適合率 大気環境の保全に関する取組状況を示す指標。 数値は、大気規制対象事業所のうち、ばい煙にかかる排出基準に適合した事業所の割合。毎年度、100%をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,366千円	6,335千円
							100%	100%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		8,169千円	8,297千円
441 大気汚染状況の常時監視事業										環境クリーン部環境対策課		環境対策課長 三浦 直子	
目的	大気に係る環境基準設定項目を中心として、大気汚染状況を常時監視し、大気汚染防止に係る施策の基礎資料を得ることを目的とする。									開始	S60	R6	R7
										予算現額		24,142千円	24,665千円
内容	硫酸酸化物・二酸化窒素・浮遊粒子状物質などの大気汚染物質について、本事業の事務処理基準及び「環境大気常時監視マニュアル」等に基づき、市内5常時監視測定局(一般局:東所沢・北野・中富、自排局:航空公園・和ヶ原)において常時監視機器を用い、計測・調査を行う。									決算額(R7見込)		23,140千円	23,621千円
										正規職員数		0.75人	0.60人
指標	有効項目率(有効調査項目数/調査項目数×100) 事務処理基準に基づき、大気汚染に係る計測・調査を行うことが目的となっているため、有効調査項目率を指標とする。目標値は、前年度維持を目標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,122千円	5,068千円
							100%	100%	100%	その他職員割合		0.15人	0.15人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		29,262千円	28,689千円
441 有害大気汚染物質等モニタリング調査事業										環境クリーン部環境対策課		環境対策課長 三浦 直子	
目的	大気に係る環境基準設定項目を中心として、有害大気汚染物質等を測定し、大気汚染防止に係る施策の基礎資料を得ることを目的とする。									開始	H9	R6	R7
										予算現額		5,725千円	6,000千円
内容	環境省が定める事務処理基準及び「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」等に基づき、市内2地点において調査を実施する。 ①調査計画の作成(調査項目、調査日程等)②調査の実施(12回/年)③測定精度の審査、測定値(年統計値を含む。)の確定④調査結果の国・関係機関・市民等への情報提供									決算額(R7見込)		4,751千円	4,949千円
										正規職員数		0.55人	0.41人
指標	有効項目率(有効調査項目数/調査項目数×100) 有害大気汚染物質に係る環境基準設定項目を中心として、大気の汚染状況を常時監視することを目的としているため、有効調査項目率を評価指標とする。目標値は、100%とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,489千円	3,463千円
							100%	100%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		9,240千円	8,412千円

442 水質規制対象事業所検査事業										環境クリーン部環境対策課		環境対策課長 三浦 直子	
目的	水質規制対象事業所から公共用水域等へ排出される汚濁物質を、立入検査等を通して削減し、河川等の水質保全を目的とする。									開始	S62	R6	R7
										予算現額		1,159千円	1,167千円
内容	排水の状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。 主な内容としては、検査計画の作成、対象事業所への立入検査の実施、採水した排水・施設の稼働状況・自主測定結果について規制基準との適合状況の確認及び規制基準に適合しない事業所への改善指導等を実施する。									決算額(R7見込)		895千円	836千円
										正規職員数		0.85人	1.00人
指標	水環境に係る環境管理目標の達成率水環境の保全状況を示す指標。 数値は、公共用水域の常時監視事業の結果において、BODやカドミウム等の水質汚濁にかかる環境管理目標項目のうち目標を達成している割合。毎年度、現状値以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,938千円		8,447千円	
						98.5%	98.5%	現状値以上	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費	7,833千円	9,283千円	
442 公共用水域等汚濁状況の常時監視事業										環境クリーン部環境対策課		環境対策課長 三浦 直子	
目的	市内主要河川の水質と河川底質(川底の泥)の環境基準項目等を中心として、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止に係る施策の基礎資料を得ることを目的とする。									開始	S62	R6	R7
										予算現額		6,682千円	7,020千円
内容	埼玉県及び所沢市が定めた公共用水域水質測定計画に基づき、pHなどの生活環境項目、カドミウムなどの健康項目等について、市内主要河川の水質と河川底質の調査を行う。									決算額(R7見込)		6,630千円	6,723千円
										正規職員数		0.40人	0.75人
指標	実施項目率(測定項目/計画項目×100) 埼玉県及び所沢市が定めた公共水域測定計画に基づき、市内主要河川の水質と河川の底質の評価を行うこと、また、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止法に係る施策のための基礎資料を得ることを事業の目的としているため、その実施項目率を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,265千円		6,335千円	
						100%	100%	100%	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費	9,895千円	13,058千円	
442 浄化槽整備補助事業										環境クリーン部資源循環推進課		資源循環推進課長 東 和秀	
目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与すること。									開始	H5	R6	R7
										予算現額		6,240千円	6,240千円
内容	浄化槽整備の費用について補助金を交付すること。									決算額(R7見込)		672千円	624千円
										正規職員数		0.50人	0.50人
指標	補助金交付数 当市の近年の申請数に照らし合わせると妥当と考えられる。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,081千円		4,224千円	
						0件	1件	5件	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	C：計画どおりでない	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費	4,753千円	4,848千円	
442 河川・水路維持管理事業										建設部河川課		河川課長 遠山 秀仁	
目的	市が管理する河川及び水路において、快適な水辺環境を維持・保全し、生きものの棲む河川の整備や市民との協働による環境保全活動を進める。									開始	S25	R6	R7
										予算現額		43,505千円	82,058千円
内容	1. 河川・水路の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2. パトロールにおける発見や市民等の要望により、河川・水路の清掃、除草、樹木の剪定及び修繕等を行う。 3. 「水辺のサポーター制度」を推進する。									決算額(R7見込)		43,174千円	76,577千円
										正規職員数		5.40人	4.24人
指標	要望・通報処理数 維持管理の成果を測るには、市民要望の多くを占める除草や清掃への対応数を指標とすることが適しているため。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	44,075千円		35,815千円	
						332件	363件	300件	その他職員割合	0.00人		0.95人	
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費	87,249千円	112,392千円	
443 土壌汚染・土砂たい積対策に関する事務										環境クリーン部環境対策課		環境対策課長 三浦 直子	
目的	法令に基づき、事業者に対して適正な土壌汚染調査と対策の指導を行うことで、有害物質等による土壌汚染対策を推進し、土壌環境を保全することを目的とする。									開始	H14	R6	R7
										予算現額		209千円	255千円
内容	有害物質を使用する事業所に適正な土壌汚染調査・報告を指導し、土壌汚染が判明した土地については汚染の拡散防止措置を取るよう土地の所有者等に指導する。 一定規模以上の土砂の堆積を行うものに対し、土壌汚染調査を実施するよう指導する。									決算額(R7見込)		243千円	331千円
										正規職員数		1.00人	1.00人
指標	土壌汚染拡散防止率土壌汚染防止の取組状況を測る指標。 数値は、土壌汚染が判明した事業のうち、汚染拡散防止措置等が実施されている事業の割合。毎年度、100%をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	8,162千円		8,447千円	
						100%	100%	100%	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費	8,405千円	8,778千円	

444 公害等苦情相談事業							環境クリーン部環境対策課			環境対策課長 三浦 直子		
目的	各種公害に係る苦情相談の解決を図ることを目的とする。							開始	S47	R6	R7	
								予算現額		5,649千円	6,389千円	
内容	騒音、振動、悪臭をはじめとする各種公害に係る苦情相談を電話・メール・窓口等を通して受付け、苦情発生源の調査、指導、助言等を行い解決を図る。							決算額(R7見込)		5,194千円	6,048千円	
								正規職員数		2.24人	1.80人	
指標	苦情相談解決率公害等の対応に関する取組状況を測る指標。 数値は、騒音・振動などの典型7公害にかかる苦情相談を解決した割合。毎年度、95%以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	18,283千円	15,205千円
							100%	97.4%	95.0%	その他職員割合	1.70人	1.70人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	23,477千円	21,253千円
444 「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業							環境クリーン部生活環境課			生活環境課長 日高 義行		
目的	市民が主体となって、居住地周辺等の清掃活動を行い、地域の環境美化の推進及び意識啓発を図る							開始	S57	R6	R7	
								予算現額		9,421千円	10,915千円	
内容	市民参加による市内全域での環境美化清掃活動を春、秋の年に2回実施することにより、快適な生活環境を確保する。							決算額(R7見込)		8,854千円	10,167千円	
								正規職員数		0.58人	0.90人	
指標	環境美化活動における参加人数 世帯数×3割 (春・秋いずれかで3割の世帯から1人は参加してもらいたいという考えによる)						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,734千円	7,602千円
							41,192人	36,701人	52,000人	その他職員割合	1人	2人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	13,588千円	17,769千円
444 環境推進員活動促進事業							環境クリーン部生活環境課			生活環境課長 日高 義行		
目的	ごみ減量・リサイクル・および地域での環境美化を推進し、市民の環境保全に対する意識を高め、理解を深めることにより、健康で潤いのある生活環境を作る。							開始	H8	R6	R7	
								予算現額		12,454千円	12,357千円	
内容	市民の環境保全に対する熱意と識見を有する方のなかから、所沢市環境推進員として委嘱し、活動を支援する。							決算額(R7見込)		11,590千円	11,716千円	
								正規職員数		0.64人	0.99人	
指標	環境推進員1人あたりの活動回数 環境推進員それぞれが2ヶ月に1度程度の活動を行うと期待したもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,224千円	8,363千円
							4.2回	4.3回	6回	その他職員割合	1人	2人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	16,814千円	20,079千円
444 あき地の雑草除去指導事業							環境クリーン部生活環境課			生活環境課長 日高 義行		
目的	あき地に雑草が繁茂することにより、火災、犯罪の発生、害虫の発生、ゴミの不法投棄などの原因になることを防ぐ。							開始	S44	R6	R7	
								予算現額		1,275千円	2,183千円	
内容	定期的にあき地の雑草繁茂状況を調査し、繁茂状況により土地の所有者(管理者)に対し、雑草の除去を行うよう指導する。							決算額(R7見込)		1,271千円	2,001千円	
								正規職員数		1.72人	1.76人	
指標	指導効果 改善箇所÷指導箇所						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	14,039千円	14,867千円
							87%	67%	100%	その他職員割合	1人	2人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	15,310千円	16,868千円
444 一般家庭生活廃水くみ取り事業							環境クリーン部生活環境課			生活環境課長 日高 義行		
目的	生活廃水があふれてしまうことを防ぎ、周辺の衛生的な生活環境を保持する。							開始	S46	R6	R7	
								予算現額		15,048千円	15,466千円	
内容	下水道未整備地区で生活廃水の吸込槽が機能低下によりあふれないよう、たまった生活廃水のくみ取りを行う。							決算額(R7見込)		14,255千円	13,306千円	
								正規職員数		0.46人	0.46人	
指標	衛生側面からの納得度 (くみ取り数－くみ取り作業への苦情数)÷くみ取り数						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,755千円	3,886千円
							100%	100%	100%	その他職員割合	0人	2人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	18,010千円	17,192千円

444 犬の登録・狂犬病予防注射管理事業										環境クリーン部生活環境課			生活環境課長 日高 義行		
目的	狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生、蔓延を防ぐため、予防注射接種率の向上を図る。									開始	H12	R6	R7		
										予算現額		5,809千円	6,098千円		
内容	市内で飼育されている犬の情報を登録し、狂犬病の接種状況を管理する。犬の鑑札および注射済票の交付を行うとともに、年1回犬の飼い主に予防接種の案内を通知する。また、所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票仮交付を行う。									決算額(R7見込)		5,423千円	5,368千円		
										正規職員数		1.13人	1.23人		
指標	狂犬病予防注射接種率 狂犬病予防法において、犬の所有者は狂犬病予防注射を毎年1回受けさせなければならないとなっている。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	9,223千円	10,390千円
										75%	76%	100%	その他職員割合	1人	1人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	14,646千円	15,758千円		
444 歩きたばこ等防止啓発事業										環境クリーン部生活環境課			生活環境課長 日高 義行		
目的	危険、迷惑な歩きたばこ、ポイ捨てをなくし、喫煙者のマナー向上を図る									開始	H18	R6	R7		
										予算現額		1,450千円	2,371千円		
内容	キャンペーン、パトロール等による条例の周知啓発活動を実施するとともに、喫煙禁止地区での禁煙を徹底するため、路上喫煙禁止地区内の路面シートの貼付や指定喫煙所の維持管理を行う。									決算額(R7見込)		1,446千円	2,285千円		
										正規職員数		0.83人	0.93人		
指標	市内4ヵ所(主な駅前)の平均路上歩行者喫煙率 (成人歩行者に対する歩行喫煙者の割合) 条例を周知し、遵守することで危険、迷惑な歩きたばこや路上喫煙行為をなくすため、違反者が0パーセントであることを目標とする。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,774千円	7,856千円
										0人	0人	0人	その他職員割合	1人	2人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	8,220千円	10,141千円		
445 特定化学物質排出量等把握に関する事務										環境クリーン部環境対策課			環境対策課長 三浦 直子		
目的	事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的とする。									開始	H15	R6	R7		
										予算現額		88千円	90千円		
内容	法令に基づき、事業活動に伴い取り扱われる化学物質の排出量等について事業者からの届出を促し、市域にて取り扱われる化学物質排出量等を公表する。									決算額(R7見込)		85千円	90千円		
										正規職員数		0.35人	0.40人		
指標	化学物質排出量市域における化学物質排出量を示す指標。 数値は、PRTR(化学物質排出移動量届出制度)の届出データの化学物質排出量。毎年度、現状値以下をめざすもの。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,857千円	3,379千円
										15.3t	13.5t	現状値以下	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	2,942千円	3,469千円		
445 ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質及び土壌等)										環境クリーン部環境対策課			環境対策課長 三浦 直子		
目的	ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視し、当該結果をダイオキシン類による汚染対策に係る施策の基礎資料とすることを目的とする。									開始	H9	R6	R7		
										予算現額		2,331千円	2,374千円		
内容	大気については埼玉県が定めたダイオキシン類大気常時監視実施計画に基づき、河川水についてはダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視(公共用水域)実施計画に基づき、また、土壌・地下水については地下水質測定計画に基づき、ダイオキシン類に係る環境調査を行う。									決算額(R7見込)		2,185千円	2,189千円		
										正規職員数		0.30人	0.35人		
指標	調査実施率(有効調査検体数/調査計画検体数×100) 埼玉県の実施計画で、大気:3地点を4回/年、河川水・底質:各2地点を1回/年、土壌:2地点を1回/年、地下水:1地点を1回/年の年19検体が測定数として定められているため、すべての項目を市で実施することを目標として設定している。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,449千円	2,956千円
										100%	100%	100%	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	4,634千円	5,145千円		
445 放射性物質による環境汚染の監視・処理事業										環境クリーン部環境対策課			環境対策課長 三浦 直子		
目的	放射線に係る環境汚染の実態を継続的に把握することで、市民の不安を軽減するための根拠資料とすることを目的とする。									開始	H23	R6	R7		
										予算現額		159千円	154千円		
内容	市内の放射線量を定期的に測定し、その結果等の情報を市民に公表すると共に、市民への測定器貸出や相談などの対応を行う。									決算額(R7見込)		138千円	154千円		
										正規職員数		0.51人	0.48人		
指標	調査実施率 (測定数/調査数×100) 市民生活における空間放射線の影響の確認のため市内10地点での測定に係る実施率を指標とする。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,163千円	4,055千円
										100%	100%	100%	その他職員割合	0.15人	0.15人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅳ:事業規模縮小		決算額+人件費	4,301千円	4,209千円		